

令和4年度 長野県産地生産基盤パワーアップ事業の評価（目標年度：令和3年度）

地域協議会名	地区名	対象作物	取組内容	成果目標	成果目標			価格補正後の実績	達成率 (%)	都道府県の評価			
					現状	目標	実績						
					年度	年度	年度						
小谷村農業再生協議会	小谷村	そば	そば乾燥調製機購入 34石乾燥機 2台	単位袋当たりの施設運営コストの10%以上の削減	30	8,183 円/袋	3	4,630 円/袋	3	7,712 円/袋	—	13.3	降雨の影響により収量減となり、目標達成できなかったが、人件費削減などの対応により、施設のコストは削減できている。次年度以降の目標達成のため、JAと協力し排水対策等基本技術の徹底し、収量の確保に努めるよう、当該協議会を指導する必要がある。
松本市農業再生協議会	松本市・山形村	野菜 (セルリー)	セルリー栽培用のハウスの導入や、環境制御技術の導入	販売額の10%以上の増加	30	136,431 千円	3	153,278 千円	3	148,752 千円	168,982	193.2	目標を達成しているもので、今後も取組の継続を図りたい。
安曇野市農業再生協議会	安曇野市三郷、松本市梓川、四賀、岡田	そば・大豆	そば、大豆トラクター・各種作業機のリース導入	単位面積当たりの販売額10%以上の増加	30	27,304 円/10a	33	30,083 円/10a	3	21,142 円/10a	—	-221.7	そばについては、8月の大雨により、出芽及び生育不良で単位面積当たりの収量が減少し未達成となった。栽培面積については目標に達しているため、排水不良なほ場を中心に、表面排水溝、暗渠排水を整備するなど排水対策を徹底して、生産量確保し、目標達成を図っていただきたい。
池田町農業再生協議会	池田町中島地区、滝沢地区、内鎌地区、十日市場地区	水稻	リース方式による高性能機械の導入	単位面積当たり販売額の10.2%の増加	29	109,946 円/10a	3	122,286 円/10a	3	106,525 円/10a	127,403	141.5	基本技術(品質向上対策・生産性向上対策)の徹底を指導した。 引き続き制度活用による有利販売と適期収穫による品質向上に努め、販売単価の向上と面積拡大による販売額の向上に期待する。
佐久市農業再生協議会	佐久市布施地区	野菜 (ハクサイ、キャベツ、レタス等)	JA佐久浅間は長者原地域に新たな予冷施設等を導入して機能強化を図ると共に、生産・出荷状況の情報伝達システムを構築して産地全体の葉野菜の品質向上に努めて販売額増加に取り組む。	販売金額の10%以上の増加	29	484,708 円/10a	3	541,368 円/10a	3	488,269 円/10a	409,816円/10a	-132.2	価格は堅調であったが、労働力不足による作付面積の減少や出荷調整等により出荷量が伸びず、目標とする販売額に達しなかった。 労働力確保や需給の注視により出荷量を確保するよう当該協議会を指導する必要がある。
川上村農業再生協議会	川上村	野菜 (レタス、ハクサイ等)	新たな真空予冷装置を設置するとともに集出荷予冷施設の機能強化を図り、葉野菜の品質向上に努めて販売額増加に取り組む。	販売額の10%以上の増加	30	520,566 千円	3	600,704 千円	3	616,099 千円	579,878千円	74.0	目標とした出荷量には達しなかったが価格が堅調であったため取組目標(価格補正前の成果目標)は達成した。一方、ハクサイの価格上昇により価格補正後の成果目標は未達成となった。需給や価格の動向を注視するとともに、適期防除など栽培管理の徹底により出荷量の確保に努めるよう当該協議会を指導する必要がある。
川上村農業再生協議会	川上村	野菜 (レタス)	既存予冷庫に加え新たな真空予冷装置を設置することにより、レタスの品質向上に努めて販売額増加を図る。	販売額の10%以上の増加	30	243,249 千円	3	267,574 千円	3	290,628 千円	278,515,556	145.0	出荷量の増加及び価格の増加により取組目標を達成することができた。成果目標(価格補正後)についても、出荷量が確保されたことにより達成することができた。
飯山市農業再生協議会	飯山市瑞穂地区	ジュース用トマト	ジュース用トマト収穫機の導入により栽培・収穫面積の拡大を図り、機械作業の効率化を進め、収量及び販売額増加に取り組む。	販売額の10%以上の増加	30	220,706 円/10a	3	275,000 円/10a	3	162,024 円/10a	—	-108.1	天候不良(大雨・曇天等)による日照不足、8月中旬の長雨により生育・着果量のばらつき大きく、収穫機で一斉収穫する際にロス果が多く発生した。土壌伝染性病害の発生も加わり目標が達成できなかった。 次年度以降の目標達成のため、堆肥を活用した土壌物理性の改善、適期防除の徹底、耐病性品種等への転換検討など、当該協議会を指導する必要がある。

小海町農業再生協議会	小海町	野菜 (ハクサイ、ブロッコリー等)	新たに機能が向上した真空予冷装置及び製氷機を導入することで、需要の高い県産の多品目野菜の長期間出荷を行い、品質及び販売額の向上、県内外の販路拡大に取り組む。	販売額の10%以上の増加	29	495,152 円 /10a	3	601,047 円 /10a	3	623,192 円 /10a	601,959円 /10a	100.9	目標とした出荷量及び販売額には達しなかったが、単位面積当たり出荷量の増加により取組目標を達成することができた。今後も出荷量を確保するとともに、需給や価格の動向を注視する取組が求められる。
長和町農業再生協議会	長和町古町	アスパラガス	集出荷貯蔵施設と効率的な選別機を整備し、アスパラガスの安定した品質を確保するとともに、栽培面積の拡大及び販売額の増加に取り組む。	販売額の10%以上の増加	30	28,800 千円	3	41,025 千円	3	31,442 千円	30,373,645	12.9	成果目標の達成には生産量の増加が必要であるが、春先の凍霜害等の影響によりR3実績は基準年を下回っている。既存ほ場及び新植ほ場の適切な栽培管理により収量の向上を図るため、地域協議会に対し改善指導をする必要があると判断する。
信濃町農業再生協議会	富士里	野菜 (スイートコーン、ばれいしょ)	トラクター、ブームスプレヤー、スイートコーン収穫機の導入により、作付面積、収穫量の増加を図り、販売額の増加に繋げる 【リース購入】 トラクター1台 ブームスプレヤー1台 スイートコーン収穫機1台 高齢等により耕作を止める担い手が多い地区であり、機械導入により作付面積と収穫販売量の増加を図る。スイートコーンについては、現状において15%ほどの未収穫が発生しており、収穫機導入により5%程度に縮減させ、収穫量の増加を図る。	販売金額の10%以上の増加	30	60,480 千円	3	71,642 千円	3	32,000 千円	30,779,520	-266.1	作付面積が減少したことにより、販売額が伸びず、未達成となった。次年度以降の達成に向けて代替可能な土地を確保できるよう検討すべきであるため、当該協議会を指導する必要がある。
伊那市農業再生協議会	伊那市東春近田原	水稻	乾燥調製施設整備	契約栽培の割合の24%以上増加かつ50%以上	30	25.8 %	3	50 %	3	55.2 %	—	121.5	契約先の増加により目標を達成した。引き続き取り組みの推進を図りたい。
木曾郡農業再生協議会	木曾福島	水稻	乾燥調製施設 1棟182㎡ 増設設備 1式	契約栽培の割合の10%以上増加かつ50%以上	30	22.56 %	3	50 %	3	21.34 %	—	-4.4	8月豪雨災害による産地内の生産量減少、新型コロナウイルス感染拡大の影響や少子化による大幅な需要減少等の要因で、目標とした契約取引の増加が達成できなかった。一方で、現在の状況下においても、新たな需要獲得に向けた取組を継続して実施していることから、次年度以降の達成に向けて指導する必要がある。